

ある町の 天気相談所

Vol.88 2025.04.04

令和7年4月号



さくらの開花

2024年の日立市のソメイヨシノの開花は、次の通りでした。

3月27日開花

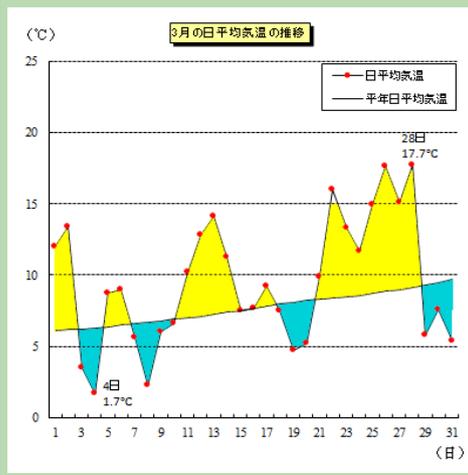
昨年より4日早い

写真は4月4日朝のかみね公園の様子



3月の気候

3月は、高気圧に覆われる時と、低気圧が通過する時が周期的にあり、南岸低気圧時は気温が低く、雪が降る時があり、北日本を低気圧が進む時は気温が上がるなど、気温の変動が大きくなりました。月平均気温は9.5度と平年よりかなり高くなりました。雨や雪の降る日も多く、月合計降水量は139.5ミリと平年の約1.4倍と多く、月合計日照時間は164.5時間と平年の89パーセントと少なくなりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

暖かい空気に覆われやすく、天気は周期的に変わり、平年同様に晴れの日が多い予想です。平均気温は「高い」、降水量は「ほぼ平年並」、日照時間は、「ほぼ平年並み」となる見込みです。

3月の雪

2025年(令和7年)3月は、平年より高い気温となりましたが、気温の変化が大きくなりました。これは、低気圧や高気圧が交互に進むことが多く、暖気や寒気が引き込まれることが多くなったためでした。関東の南岸に前線や低気圧が進むこともあり、雪が降った日が3月としては多くなりました。

市役所では、3日、4日、8日の3日間雪が降ったときがあり、山間部は19日も雪が降りました。このうち、3日は市役所で1cmの積雪があり、市役所で積雪を観測したのは、2023年1月27日以来、3月に積雪を観測したのは、2022年以来でした。

3日と4日、8日の雪は、関東地方の南岸を前線や低気圧が進む、いわゆる南岸低気圧でした。4日と8日は、量は少なく、市街地では雨と雪の境目の気温であったため、雨のほうが多くなりました。3日は雨量が多くなったほか、寒気の入り込みが強くなったため、日中雪と変わり、積雪となりました。

19日は、上層に強い寒気が入り、下層には南からの湿った空気が入る状況でした。降水量は多くなり、市街地では雨でしたが、山間部では寒気が上層から下層に下降し、雪となることがありました。

さくらの観測

天気用語の基礎知識

気象庁の生物季節観測として、さくらは主にソメイヨシノの開花と満開を観測することになっている。標本木に5〜6輪の花が咲いた日を開花日とし、咲き揃った時の約80パーセント以上が咲いた状態となった日を満開日として観測する。枝ではなく幹や根から咲く胸咲きによる開花は、通常の開花とは異なると考えられる事から含めない。日立市においても、かみね公園に基準となるソメイヨシノを選んであり、開花と満開を70年以上記録している。

参考・気象庁 生物季節観測指針

……神峰の山から……

日立市内にはいろいろな種類のさくらがあります。その中でも山や、市街地に近くても昔の地形が残っているところには、オシマザクラやヤマザクラが、よくみられます。これらのさくらは、普段はそこさくらがあるかどうか忘れてしまうかのようになり、他の木々と混じっていますが、さくらの開花時期になると、存在が目立ちます。普段気にしていないからか、または進みが早いからかわかりませんが、気がつくとい頃を迎えているさくらがよくみられます。

この時期になると、日立市内にはさくらが多いことが実感できます。